

経営比較分析表（令和2年度決算）

山口県 宇部市

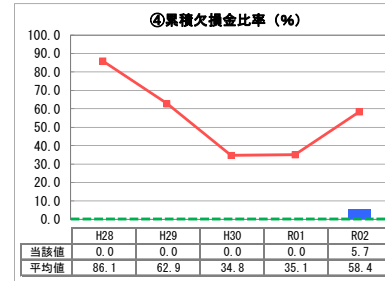
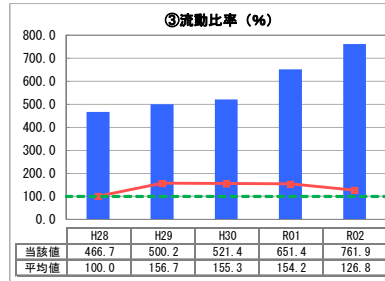
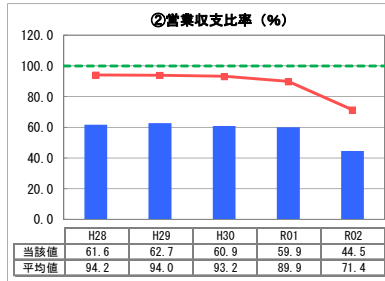
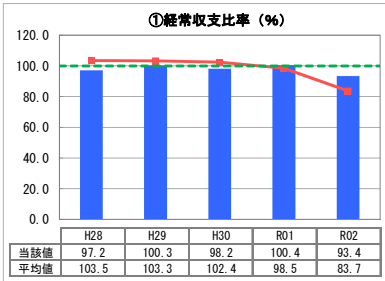
業務名	業種名	事業名	管理者の情報
法適用	交通事業	自動車運送事業	自治体職員
資金不足比率（%）	営業路線（km）	年間走行キロ（千km）	在籍車両数（両）
-	200.7	2,192	73
職員数（人）	管理の委託割合（%）	民間事業者の有無	地域公共交通計画策定の有無
111	-	有	有

	H28	H29	H30	R01	R02
年間輸送人員（千人）	2,497	2,417	2,343	2,256	1,731
他会計負担額（千円）	234,120	231,106	209,067	206,623	215,695

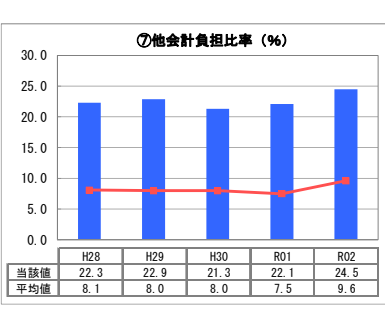
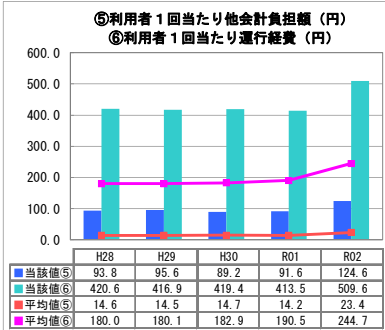
※民間事業者の有無とは、行政区域内で民間バス事業者が運行しているかどうかを指す。

1. 経営の健全性

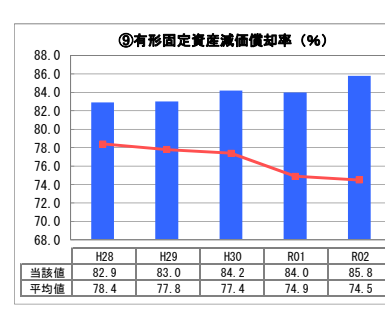
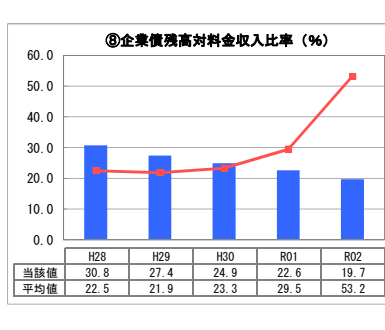
○事業の状況



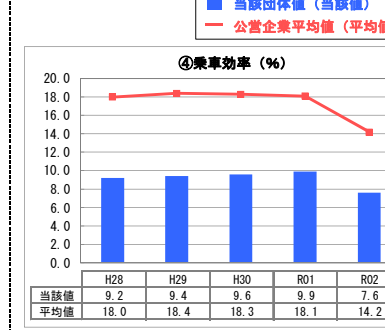
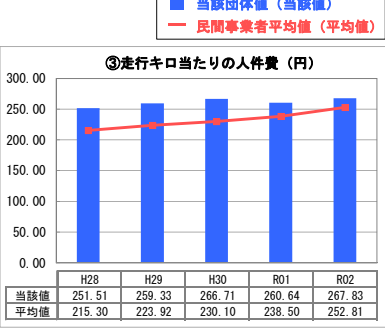
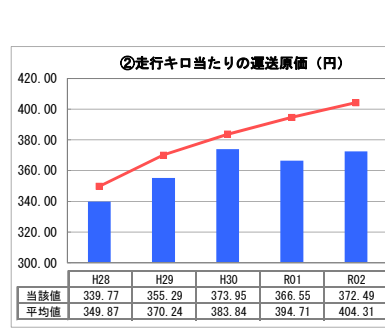
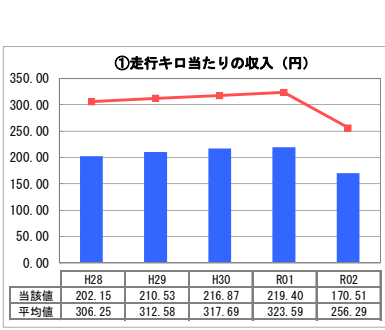
○独立採算の状況



○資産及び負債の状況



2. 経営の効率性



※民間事業者平均値は当該団体が所属する標準原価ブロックの民間平均値

分析欄

1. 経営の健全性について

令和2年度においては、前年度と比較し、経常収支比率及び営業収支比率ともに減少している。これは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、乗合事業及び貸切事業の輸送量が大幅に減少したことが要因である。これにより、令和2年度末時点において累積欠損金が発生し、経営状態は一段と厳しい状況である。また、有形固定資産減価償却率は、依然として高い水準であり、資産の老朽化が進んでいるが、今後、新型コロナウイルス感染症の事業運営に及ぼす影響が不透明であるため、設備投資を抑制せざるを得ない状況である。

2. 経営の効率性について

走行キロあたりの収入及び乗車効率が大幅に減少した要因は、路線バス運行の約94%が生活路線を運行するものであり、コロナ禍においても、市民の移動手段を確保する必要があるため、減便や運行休止をすることなく事業継続したためである。今後は、ポストコロナ社会における生活スタイル変容に合わせた事業運営への変革が必要である。

全体総括

今後、新型コロナウイルス感染症の事業運営に及ぼす影響が不透明な状況を踏まえ、外的要因に対して機動的に対応できる体制を構築する必要がある。また、「使いやすく、持続可能な地域公共交通」を維持するため、「宇部市交通事業経営戦略」に基づき、事業の健全化に向けた事業運営を展開して行く必要がある。